

当初予算成立

平成28年度は、わがまちプラン（第五次大竹市総合計画）後期基本計画の始まりの年です。わがまちプランでは、「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をテーマとして、笑顔や元気がかかやく大竹市になるよう、6つの基本目標を定めています。

6つの基本目標

- 大竹を愛する人づくり
 - 生活基盤が整ったまち
 - 安全なまち
 - 安心できるまち
 - 心にゆとりを感じるまち
 - 行政・社会の仕組みづくり
- この計画に基づき、一步一步進んでいくことが市民の皆さんが考える「よいまち」の実現につながると考えています。
- また、大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、第五次大竹市総合計画に掲げる「よいまち」の実現に向けて、
- 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する
 - 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - 誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる地域を実現する
- を基本目標としています。

平成28年度予算は、「よいまち」の実現に向けて、大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標を達成するための事業を盛り込んでいます。

普通建設事業などの大規模な事業には、国や県からの補助金や駐留軍等再編交付金をはじめとする財源を有効に活用しながら、将来的に安定したまちづくりのための財政の枠組みを保つ行政運営を行います。

一般会計・特別会計の当初予算の概要
一般会計は前年度当初予算と比べ2・5%の増となっています。

歳入は、市税や広島県未来の地域づくり応援交付金などの県支出金が増加し、市債などが減少しました。7つの特別会計の合計は、79億9,296万円で、前年度と比べると1・4%の減となりました。

平成28年度会計別予算

一般会計・特別会計

名称	平成28年度	平成27年度	対前年度比(%)
一般会計	145億7,291万円	142億2,413万円	2.5
特別会計計	79億9,296万円	81億398万円	▲1.4
国民健康保険	44億2,774万円	43億169万円	2.9
漁業集落排水	3,185万円	3,129万円	1.8
農業集落排水	4,836万円	4,877万円	▲0.8
港湾施設管理受託	4,932万円	5,412万円	▲8.8
土地造成	3億3,011万円	7億1,716万円	▲54.0
介護保険	26億7,261万円	25億3,152万円	5.6
後期高齢者医療	4億3,297万円	4億1,943万円	3.2
合計	225億6,587万円	223億2,811万円	1.1

企業会計(※)

名称	区分	平成28年度	平成27年度	対前年度比(%)
事業水	収益的	収入 5億5,095万円	5億6,825万円	▲3.0
	支出 5億3,842万円	5億5,751万円	▲3.4	
事業道	資本的	収入 4,152万円	8,585万円	▲51.6
	支出 1億7,389万円	2億2,449万円	▲22.5	
事業市	収益的	収入 5億5,022万円	5億5,673万円	▲1.2
	支出 5億2,403万円	5億3,186万円	▲1.5	
事業水	資本的	収入 2億3,010万円	3億2,228万円	▲28.6
	支出 5億921万円	5億8,991万円	▲13.7	
事業公	収益的	収入 9億8,547万円	10億196万円	▲1.6
	支出 9億5,579万円	9億5,328万円	0.3	
事業水	資本的	収入 4億5,561万円	6億5,222万円	▲30.1
	支出 7億1,651万円	9億992万円	▲21.3	

※ 企業会計とは、地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計をいいます。独立採算による特定の事業を管理する会計で、大竹市には水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業があります。

歳出(一般会計)

(目的別)

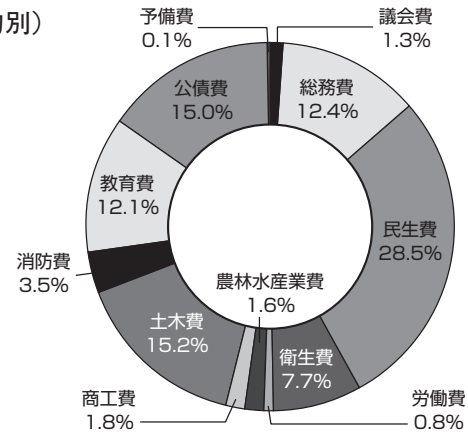
項目	内容	平成28年度()は27年度	前年度比(%)
議会費	議会の活動にかかる経費	1億9,096万円(2億660万円)	▲7.6
総務費	市の全般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	18億243万円(15億9,386万円)	13.1
民生費	生活保護や児童・高齢者などの経費	41億4,750万円(40億3,151万円)	2.9
衛生費	衛生的な生活環境を守るための経費	11億1,534万円(10億3,821万円)	7.4
労働費	労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1億2,010万円(1億2,010万円)	0.0
農林水産業費	農林業や水産業の振興などの経費	2億3,251万円(2億1,351万円)	8.9
商工費	商工業の振興や観光宣伝などの経費	2億6,120万円(2億5,555万円)	2.2
土木費	道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	22億2,359万円(21億8,651万円)	1.7
消防費	消防・救急業務や災害対策の経費	5億1,561万円(5億7,082万円)	▲9.7
教育費	小・中学校の運営や社会教育などの経費	17億6,466万円(18億7,044万円)	▲5.7
災害復旧費	災害復旧工事などの経費	0.5万円(0.5万円)	0.0
公債費	過去の借入金の返済金	21億7,901万円(21億1,702万円)	2.9
予備費	緊急時のための目的を定めていない予算	2,000万円(2,000万円)	0.0

※ 災害復旧費は名目のみ予算計上(1万円未満のため小数点以下まで表示)しています。

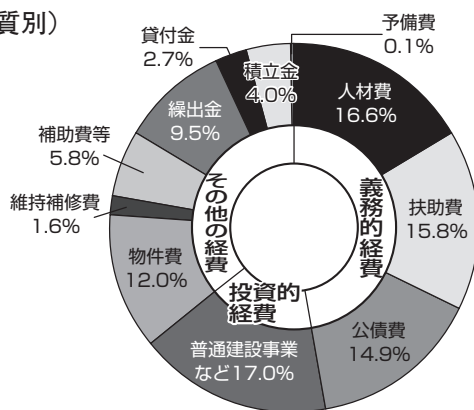
(性質別)

項目	内容	平成28年度()は27年度	前年度比(%)	
義務的経費	人件費	市役所で働く人の報酬や給与など	24億1,651万円(24億3,964万円)	▲0.9
	扶助費	社会保障制度の一環として、支援を行うための経費	23億12万円(22億6,930万円)	1.4
投資的経費	公債費	過去の借入金の返済金	21億7,900万円(21億1,702万円)	2.9
	普通建設事業費	道路や公共施設を新増設するための経費	24億8,042万円(22億8,057万円)	8.8
その他の経費	物件費	賃金、旅費、需用費などの消費的性質をもつ経費	17億5,424万円(17億8,124万円)	▲1.5
	維持補修費	道路や公共施設などを管理する経費	2億2,779万円(2億3,958万円)	▲4.9
その他の経費	補助費等	市からほかの団体などに対して行政上の目的で支払う経費	8億4,519万円(9億875万円)	▲7.0
	貸付金	市から行政上の目的で貸付けを行う経費	3億8,692万円(3億8,886万円)	▲0.5
その他の経費	積立金	財政運営を計画的に行うため、財政変動に備えて基金に積み立てるための経費	5億8,345万円(4億1,781万円)	39.6
	予備費	緊急時のための目的を定めていない予算	2,000万円(2,000万円)	0.0

(目的別)

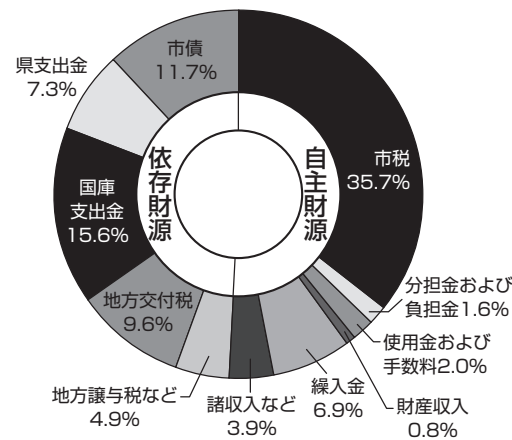


(性質別)



歳入(一般会計)

項目	内容	平成28年度()は27年度	前年度比(%)
市税	市民税や固定資産税など	52億200万円(50億8,614万円)	2.3
分担金および負担金	保育料、養護老人ホーム入所者負担金など	2億2,640万円(2億3,184万円)	▲2.3
使用料および手数料	市営住宅使用料、ごみ・し尿処理使用料、各施設の使用料など	2億9,300万円(2億9,376万円)	▲0.3
財産収入	土地売却収入、寄附金など	1億1,929万円(9,352万円)	27.6
繰入金	財政調整基金繰入金、水道会計退職手当組合負担金繰入金など	9億9,933万円(8億7,004万円)	14.9
諸収入	他の収入科目に含まれない収入(貸付金元金収入など)	5億6,951万円(5億2,855万円)	7.7
地方譲与税	国や県が徴収した税の一部を一定割合で交付されるお金	7億2,261万円(6億5,851万円)	9.7
地方交付税	市の財政力などに応じて国から交付されるお金	14億4,277万円(14億1,529万円)	▲0.8
国庫支出金	特定の目的のために国から交付されるお金	22億7,855万円(20億6,645万円)	10.3
県支出金	特定の目的のために県から交付されるお金	10億6,010万円(6億9,201万円)	53.2
市債	大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れるお金	16億9,785万円(22億8,802万円)	▲25.8



平成28年度主要事業

(新規・拡充分・その他主なもの)

1 大竹を愛する人づくり



○学習環境サポート・読書活動推進事業(小・中学校)(拡充)
5、300万円

通常の学級に在籍する発達障害などのある児童・生徒へのサポートのため配置している「学級支援員」を増員します。サポート体制を充実させ、個々に応じたよりきめ細かな指導をめざします。

学校図書館に「読書活動推進員」を配置することで、市内小中学校の読書および学習環境を改善し、幅広い視野を持った心豊かな児童・生徒を育成します。

○玖波小学校施設整備事業
7億5、841万円

児童と教職員の安全と適切な学習環境を確保するため、玖波小学校の耐震対策を行います。

平成28年度は、小学校校舎を建設します。新校舎には、あすなろ児童クラブを併設します。

2 生活基盤が整ったまちづくり



○市営住宅御園団地整備事業
6億1、120万円

高齢者対策など住宅施策に対応した住戸として御園6号棟(鉄筋コンクリート造8階建、住戸数80戸、エレベータ設置)を整備します。平成28年度は、建設工事を行います。

3 安全なまちづくり



○消防力強化事業(防火水槽設置工事)(新規)
2、200万円

阿多田地区の消防水利を強化するため、容量60㎡の防火水槽を設置します。

岩国大竹道路整備のため、小方公民館に設置している防火水槽を廃止し、黒川第2公園に容量80㎡の防火水槽を設置します。

○浸水対策事業(立戸地区)(新規)
250万円

立戸地区内の浸水被害を縮小するため、雨水排水施設の調査設計を行います。

4 安心できるまちづくり



○病児保育運営委託事業(拡充)
895万円

広島西医療センター内において、市内に住所がある、または保護者が市内の事業所に勤務する、病児・病後児に対する保育を行います。平成28年度から、対象を生後6か月から小学6年生までに拡充し、子育て環境を充実します。



○子ども医療費助成事業(拡充)
7、935万円

子どもの入院・通院に対しての乳幼児等医療費の一部助成対象を中学生までに拡充します。あわせて、対象世帯の所得制限を撤廃し、該当する全ての子育て世帯を対象とした助成制度とします。

市内在住の子どもの疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな成長を促すとともに、子育て世帯の医療費の負担を軽減します。(P29参照)

○子育て支援センター等運営事業(拡充)
2、137万円

地域全体で子育てを支援する環境づくりを行う拠点として、子育て支援センター(どんぐりHOUSE)、さかえ子育て支援センター、松ヶ原子ども館があります。育児不安に対する相談指導や子育てサークルなど

5 心にゆとりを感じるまちづくり



○小方学園プール市民開放事業
527万円

小方学園のプールを広く市民に開放し、市民の健康増進と水泳振興を図ります。



6 行政・社会の仕組みづくり



○ふるさと納税促進事業
1、000万円

寄附(ふるさと納税)の促進や市のPRを目的に、一定額以上の寄附者に対して、市の特産品を返礼品として贈呈します。(P2参照)



○基金管理事業(地方創生事業基金積立金)
3億295万円

大竹市まち・ひと・しごと総合戦略などに掲げる地方創生事業を、中長期的な視点で円滑に推進するため、広島県が新たに行う予定の広島県未来の地域づくり応援交付金やふるさと納税寄付金などを基金として積み立て活用していきます。

用語解説

【一般会計・特別会計】

地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入をもって特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

【歳入・歳出】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

【自主財源・依存財源】

市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したもの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。

【性質別歳出】

市の経費をその性質ごとに、義務的経費、投資的経費、そのほかの経費に分類したもの。義務的経費は支出が義務付けられている経費。投資的経費は道路や公共施設の建設などにかかる経費。

【目的別歳出】

市が行う事業を目的別に分類するもので、行政上の特色などを知ることができる。

【駐留軍等再編交付金】

在日米軍の再編などにより負担の増える市町村に対して交付される交付金。大竹市の場合、平成19年度から33年度までの15年間で約60億円が交付される予定。

平成28年度は5億6,975万円が交付される見込み。



予算書を販売しています (消費税込み1,000円)

予算書(A4版 328ページ)は市役所企画財政課、各支所で販売しています。(当初予算の概要は無料)

また、市立図書館や情報公開コーナー(市役所1階)、市ホームページでもご覧いただけます。

